

第22回会員交流のつどい

—わが社の看板商品の表彰・基調講演・交流懇談会—

企業の発展と食文化の振興に寄与しているロングラン商品を「わが社の看板商品」として表彰します。表彰式後、当該会員により、開発の経緯、商品価値の維持、リニューアルの工夫などの解説をして頂きます。また、基調講演は、小川宣子氏（中部大学応用生物学部 食品栄養科学科）にお願いしました。

基調講演終了後、交流懇談会を開催し、情報交換をしながら、懇親と交流を図って頂きます。

奮ってご参加くださるようお願いします。

主 催 包装食品技術協会

(日 時) 令和元年11月20日(水) 15:00~19:45

(場 所) アイリス愛知 2F コスモスの間： 表彰・受賞講演、基調講演、交流懇談会
〒460-0002 名古屋市中区丸の内二丁目5番10号 (TEL 052-223-3751)

(内 容)

15:00~ 会長挨拶

15:10~16:25 わが社の看板商品 表彰 および 受賞講演

- 商品「ねのひ」 盛田株式会社 小鈴谷工場
- 商品「釜めしの素」 ヤマモリ株式会社
- 商品「旬彩の国 調理済 乾燥惣菜」 岩田食品株式会社

16:30~17:35 基調講演

演 題： 地域の食文化継承が果たす役割

演 者： 小川 宣子 氏 (中部大学 応用生物学部 食品栄養科学科)

講演内容： 「食生活」の機能として、バランスのよい栄養を摂取する生理的機能、楽しい時間を過ごす精神的機能、コミュニケーションとしての社会的機能、考えて食べることができるようにとの教育的機能、この他に文化的機能があります。地域には風土や文化の違いによって異なる伝統食や行事食が存在しますが、これらの料理や食材の文化的な背景を知ることから地域の良さや特性が明らかになり、地域を誇りに思うことにつながり、これが地域の活性の一要因になると考えます。「食」が担う文化的機能の役割について紹介したいと思います。

17:40~19:45 交流懇談会 (お土産に、お楽しみ袋を準備しております)

(参加費) 1名につき 6,000円

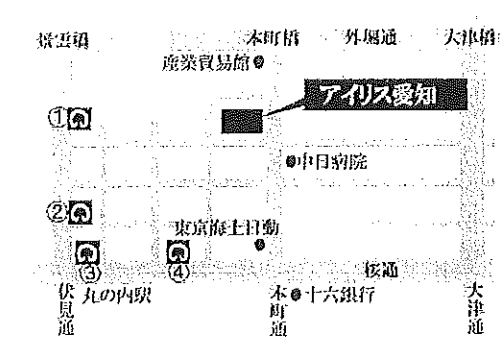
(申込方法) 申込書を FAX または郵送で協会事務局までお送り下さい。 申込書を確認後、折り返し FAX または郵便で「参加票」をお送りします。 参加費は、銀行振込で、11月13日(水)まで(または貴社御指定日)に送金願います。 ご送金後の返金には応じかねますので、代理の方がご参加下さい。

(申込先) 包装食品技術協会 事務局 : 〒451-0083 名古屋市西区新福寺町2-1-1
あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター 内
TEL 052-521-1320、FAX 052-521-1323

(申込締切) 令和元年11月13日(水)

(振込口座) 三菱東京UFJ銀行浄心支店 普通0704266
包装食品技術協会 (手数料はご負担願います)

(会場案内) アイリス愛知



地下鉄：桜通線「丸の内駅」下車 4番出口より徒歩8分
名城線「市役所駅」下車 4番出口より徒歩8分
鶴舞線「丸の内駅」下車 1番出口より徒歩8分
市バス：名駅14系統に乗車 「外堀」バス停下車すぐ

..... キリトリセン

令和元年 月 日			
FAX 052-521-1323			
包装食品技術協会 事務局 宛			
第22回会員交流のつどい 参加申込書			
会社(団体)名			
所在地	〒		
担当者	氏名		所属
	TEL		FAX
	E-mail		
参加者	氏名		所属・役職
	氏名		所属・役職
	氏名		所属・役職
	氏名		所属・役職
該当する場合、レ印を付けて下さい。 <input type="checkbox"/> 請求書必要			